

京都の医療を支える医師確保対策の更なる展開について

【関係省庁】厚生労働省

京都府では、府立医科大学に対し年間 100 億円を上回る一般財源を投入し、地域医療を支える医師を養成するとともに、全国に先駆け、昭和 46 年に京都府立医科大学医療センターを設置し、医師の派遣等を推進するなど、地域医療体制の確保対策を進めています。

しかしながら、府北中部地域の医師不足は深刻な状況にあり、これらの課題に的確に対応していくため、京都府医療対策本部を設置（平成 22 年 1 月）するなど、地域医療確保対策を更に進めており、こうした本府の取組を後押しいただくよう、次のとおり要望します。

<厚生労働省の概算要求>

■ 地域医療支援センター(仮称)の整備 17 億円

地域医療に従事する医師のキャリア形成支援、医師不足病院への医師のあっせん等を行うため、都道府県が設置する「地域医療支援センター(仮称)」の運営に係る経費を支援する制度。



<京都府からの要望>

京都府では、**全国に先駆け京都府立医科大学医療センターを設置**するとともに、府北中部地域の医師不足等の課題に的確に対応するため、**京都府医療対策本部を設置**するなど、**地域医療を支える体制整備**に積極的に取り組んでおり、実効性のある医師確保に繋がるよう、「**地域医療支援センター(仮称)の整備**」の予算を**京都府に重点的に配分**してください。

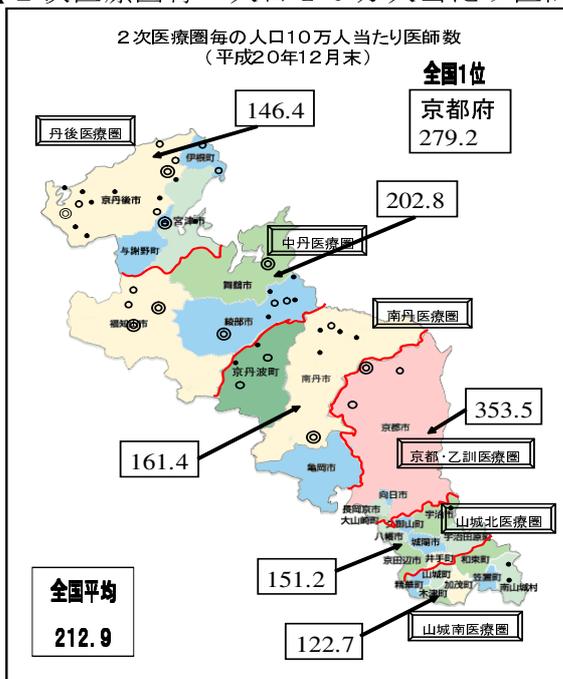
京都府の現状・課題等

< 都市部（京都・乙訓医療圏）と他の圏域で医師数の乖離が拡大 >

○丹後医療圏は、京都・乙訓医療圏の約 4 割（人口 10 万人対医師数）

○医師数が増加する中、新臨床研修制度の導入を契機に北部（丹後及び中丹）の医師数が減少

【2次医療圏毎の人口10万人当たり医師数】



順位	都道府県	医師数
1	京都府	279.2
2	徳島県	277.6
3	東京都	277.4
	・・・	・・・
45	千葉県	161.0
46	茨城県	153.7
47	埼玉県	139.9

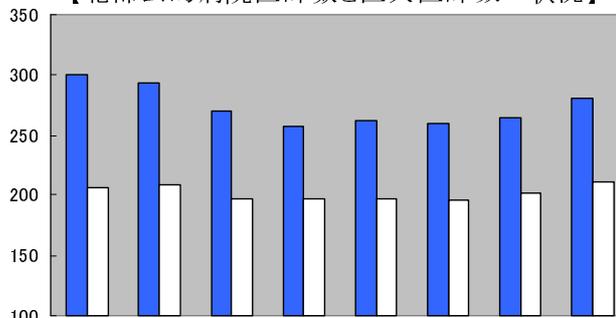
○医療施設従事医師数の推移

	①平成14年	②平成20年	②-①	②÷①
北部	630	577	▲ 53	92%
その他	6,181	6,763	582	109%
合計	6,811	7,340	529	108%

○京都府における医師確保の取組

- ・ 府医療対策協議会での議論を踏まえ、総合的医師確保対策を実施することにより、府北部地域の公的病院へ府立医科大学から211名の医師を派遣
- ・ 府立医科大学の内部組織である医療センターにおいて、医師確保困難地域である府北部にある府立与謝の海病院へ46名の医師を派遣

【北部公的病院医師数と医大医師数の状況】



【京都府の担当部局】 健康福祉部 医療課 075-414-4744